

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0031 東京都品川区西五反田8-1-1 鈴友ビル4F TEL 03-5719-7601

2017年7月31日発行 第17号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行) 発行人:西村友伸 編集人:徳永英樹
FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/

平成29年度 定時会員総会 開催報告 =6月9日 東京オペラシティ(新宿)=

平成29年度の定時会員総会が、6月9日(金)東京オペラシティF会議室にて開催されました。定時会員総会は正会員35名(代理人出席含む)の出席により定数を満たし成立、以下の議案が審議されました。

平成28年度の事業報告及び決算報告、平成29年度の事業計画及び収支予算の両議案ともに提案の議案書通り満場一致で可決承認されました。

続いて、任期満了による役員改選が行われ、平成29・30年度を任期とする役員が選出されると共に、会員資格と会費制度の見直しに伴う制度改革に沿い、入会金及び会費規則等の関係規則・規程が改定されました。

総会終了後は簡単な出席者による親睦会が開催され、参加者同士の交流と親睦が深められました。

尚、平成29年度の主な事業活動は以下の通りです。

◇平成29年度の法人運営基本方針

- ①制度改革を推進し組織力の強化と、会員メリットの在り方を検討します。
- ②クラシックの普及に向け、新たな広報ツールの開発に取り組みます。
- ③文化行政への支援強化要望、東京2020に向けたクラシック音楽界の取組みを推進します。

◇各種事業活動の推進

●会員向けの事業活動 【重点事業】

- ※人材育成事業(会員研修会・経営懇談会の開催)
- ※情報収集提供と調査研究(ガイドブックの発刊、新規広報ツール開発調査研究)
- ※協会広報活動の拡充(広報誌のリニューアル、月刊メール配信の拡充)

●クラシック音楽の普及に向けて 【重点事業】

- ※普及活動(子ども青少年クラシック音楽普及事業[Y-Classic])の開催。
- ※公共ホール音楽活性化関連事業への制作協力。
- ※東京2020に向けクラシック音楽界の取組みを推進します。

【新規】SNSを活用した新たな広報ツールの開発に取り組みます。

【新規】公共ホール音楽活性化発展継続モデル事業への協力

●文化振興に向けた諸活動(文化振興・国際交流)

- ※文化芸術推進フォーラムに参画、文化行政に答申や提言を行う他支援強化を要望します。
- ※文化省創設に向け関係団体と協力推進する。
- ※FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)、IAMA(国際アーティストマネジメント協会)等、アジアや欧米の諸団体と交流・連携を推進。
- ※心の復興音楽基金の運営。

【新規】文化振興・国際交流を阻害する招聘公演に関わる消費税のリバースチャージの適用除外に関係団体と協力して求めます。

●協会の目的に適う事業

- ※宝くじドリーム館でのコンサート等を通じクラシック音楽の普及活動を推進します。



◇新役員体制

会 長 西村 友伸

株式会社東急文化村 代表取締役社長

筆頭副会長 入山 功一

株式会社AMATI 代表取締役社長

副会長 下八川 共祐

公益財団法人日本オペラ振興会 常任理事 / 学校法人東成学園 理事長

副会長 橋本 行秀

株式会社イープラス 代表取締役会長

専務理事 徳永 英樹

株式会社1002 代表取締役社長

常任理事 丹羽 徹

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 事務局長

理 事 池田 徹雄

公益財団法人東京オペラシティ文化財団 常務理事・事務局長(新任)

理 事 岩崎 幸弘

有限会社クラシック名古屋 代表取締役

理 事 大内 栄和

株式会社ジャパン・アーツ 取締役副会長

理 事 喜多 弘悦

株式会社ザ・シンフォニーホール 取締役ゼネラルマネージャー 音楽総監督(新任)

理 事 桐谷 暁史

株式会社二期会21 事業本部長(新任)

理 事 堤 正浩

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 専務理事(新任)

理 事 中尾 玉樹

株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント 代表取締役社長(新任)

理 事 仲道 郁代

ピアニスト

理 事 萩野 美智子

一般社団法人ブラームスホール協会 理事長

監 事 栗林 信介

弁護士・トニカ法律事務所

監 事 佐藤 修悦

株式会社コンサートサービス 代表取締役

監 事 福田 成康

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 専務理事

Topics

制度改革小委員会からのお知らせ

今年4月1日付けにて、正会員・賛助会員の各位にお知らせ申し上げました制度改革(会員資格と会費制度の改革)につきましては、関連規則・規程が6月9日の定時会員総会にて改定されました。主な変更点は以下のとおりです。

●正会員枠に法人会員Cを設置

[種別]

- 法人会員A 従業員11名以上またはホール客席2001席以上の法人又は団体
- 法人会員B 従業員10名以下またはホール客席2000席以下の法人又は団体
- 法人会員C 従業員3名以下またはホール客席1000席以下の法人又は団体 【新設】
- 個人会員 クラシック音楽事業またはクラシック音楽文化活動を行う個人

[会費]

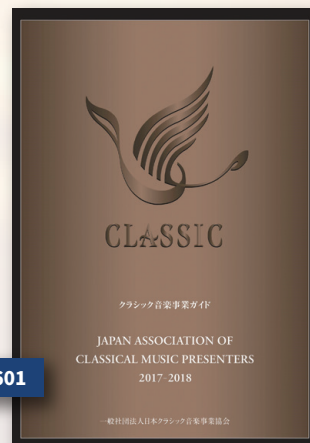
- 法人会員A 年会費 360,000円 入会金 100,000円
- 法人会員B 年会費 240,000円 入会金 100,000円
- 法人会員C 年会費 120,000円 入会金 50,000円 【新設】
- 個人会員 年会費 60,000円 入会金 50,000円

この改定に伴い、従業員3名以下の音楽事業者や、座席数1,000席以下のホール事業者の皆様には、正会員へ入会し易くすると共に、現在、賛助会員に加盟されている皆様には、正会員に移行される際には、入会金免除の特典[向う2ケ年]も設定致しました。委員会では規則の改定の他に、会員メリットの創出に向けた検討も継続的に行ってまいりますので、この機会に是非ご入会を検討されている方等が居られましたら是非ご紹介をお願いいたします。

「クラシック音楽事業ガイド2017-2018」発売

隔年で発行している「クラシック音楽事業ガイド」の最新版を6月末に発行いたしました。関係各位・団体の御支援を得て、協会員の活動概要・アーティスト情報の他、全国の音楽ホール・文化財団等のリスト等を網羅しながら、サイズはA5版、厚さはわずか2センチとコンパクトで、定価952円(税別)と気軽にお使いいただけます。音楽事業に携わる方々の必携のガイドブックとして、又クラシック音楽愛好家の方々も日常活用する資料として、ぜひお求めください。全国の大手楽譜・音楽書取扱店で販売中。協会事務局でもお申込み承ります。

定価952円(税別) お問い合わせTEL03-5719-7601



地域創造 平成29年度公共ホール音楽活性化事業・全体研修会

登録アーティストによる公開プレゼンテーション開催

平成29年4月18日(火)Hakuju Hallにて、一般財団法人地域創造の標記事業登録アーティスト計7名が、演奏とトークによる公開プレゼンテーションを行いました。[本会制作協力事業]

プレゼンテーションは平成29年度の標記事業に参加する全国各地の15団体に対する研修会の一環として開催されました。各団体の担当者が、ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・ホルン・チューバ・声楽(バリトン)・マリンバのプレゼンテーションを聴き、どの登録アーティストへ出演を依頼するか検討しました。その後5月にアーティストの派遣地域が決定し、今年9月から来年3月まで各地域でアウトリーチとホール公演が行われます。



福川 伸陽さん(ホルン)



坂口 昌優さん(ヴァイオリン)



加藤 文枝さん(チェロ)

Activities

- 4月17～19日 平成29年度公共ホール音楽活性化事業 全体研修会
- 4月18日 [協会受託事業] 平成29年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティストプレゼンテーション
(詳細は2面参照)
- 4月25日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 愛知セッション 全体研修会(於:愛知県芸術劇場)
- 5月15日 平成28年度事業決算監査
監事2名・顧問会計士1名が平成28年度の諸事業の説明を事務局より受け、続いて財務諸表及び会計帳簿等を監査し、正しく処理されていることを確認しました。
- 5月22日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業 平成30・31年度登録アーティスト第1次選考会
テープ審査を行い、通過したアーティストが6月の2次選考会へ進みました。
- 5月26日 平成29年度第1回定例理事会
28年度事業報告・決算報告案及び29年度事業計画・予算案、29年度定時会員総会開催承認、制度改革に伴う規則・規定改定、会員入退会の審議を行いました。
- 6月9日 平成29年度定時会員総会時における臨時理事会、平成29年度定時会員総会
(詳細は1面参照)
- 6月9日 心の復興音楽基金 2017年後期 助成対象活動募集要項公開
- 6月26～27日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業平成30・31年度登録アーティスト 第2次選考会
(於:Hakuju Hall)
応募者による演奏と抱負等についてのトーク、審査員との質疑応答による厳正な審査の結果、次の合格者8名が選ばれました。岡田奏(ピアノ)、酒井有彩(ピアノ)、中野翔太(ピアノ)、田中拓也(サクソフォン)、糸賀修平(テノール)、山本奈央(オカリナ)、泉真由×松田弦(フルート、ギター)、アーバン・サクソフォン・カルテット(サクソフォン四重奏)

- 6月30日 内閣府へ平成28年度公益目的事業実施報告を提出
- 6月30日 「クラシック音楽事業ガイド2017-2018」発行
(詳細は2面参照)

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



4月19日 東京

出演: ヴィタリ・ユシュマノフ/バリトン(ブラームスホール協会所属)
山田 剛史/ピアノ



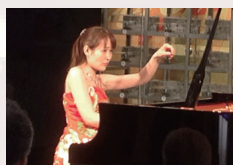
4月20日 大阪

出演: 江崎 浩司/リコーダー(オレンジノート所属)
伊藤 一人/ピアノ



5月17日 東京

出演: 森岡 有裕子/フルート(ミリオンコンサート協会所属)
永田 美穂/ピアノ



5月18日 大阪

出演: 泊 真美子/ピアノ(東京コンサーツ所属)



6月21日 東京

出演: 加藤 文枝/チェロ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)
小澤 佳永/ピアノ



6月22日 大阪

出演: 高橋 和歌/ヴァイオリン(音楽芸術家協会所属)
高橋 望/ピアノ

心の復興音楽基金

～東日本大震災の被災地に音楽を届ける支援金～



心の復興音楽基金[運営:日本クラシック音楽事業協会内]では、東日本大震災の被災地に赴いて演奏活動等を行う音楽家に対して必要経費(交通費・宿泊費、調律費等)を助成する事業を行っています。

熊本地震の被災地も対象とします
(詳細はウェブへ)

〈2017年度後期の事業について〉 対象:2017年10月1日～2018年3月31日の期間に実施される活動

応募期間	2017年7月31日(月)～8月31日(木)必着
結果通知	2017年9月15日(金)
助成金額	1件あたり30万円を上限として支援総額180万円前後を予定
助成条件	助成内定した活動について、心の復興音楽基金の規定を遵守いただく他、事業完了後適切な活動報告書を提出いただける事 また、日本クラシック音楽事業協会会員からの推薦を必要とします

詳細な要項、応募用紙のダウンロードは日本クラシック音楽事業協会ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.classic.or.jp/p/fukko.html>

What's New

会員情報

〔新入会〕

正会員 株式会社テンポリモ
代表取締役 中村聡武
住所:〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19 銀座三真ビル4F
TEL:03-3524-1221 FAX:03-3524-1222

〔人事〕

正会員 株式会社NHKプロモーション
代表取締役社長 畠山経彦(前任の旭充氏は退任)
取締役 常務執行役員 風谷英隆

正会員 株式会社ジャパン・アーツ
代表取締役会長 関田正幸 取締役副社長 浅野忍
取締役副会長 大内栄和 常務取締役 笹島栄治
取締役社長 二瓶純一 取締役 大塚希伊

正会員 公益財団法人日本オペラ振興会
日本オペラ協会総監督 郡愛子

正会員 一般財団法人住友生命福祉文化財団
理事長 田辺恭久
常務理事・いづみホール支配人 寺田浩

正会員 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会
評議員会議長 関田正幸(新任)
理事長 小泉慎一(新任)
専務理事 堤 正浩(新任)

正会員 一般財団法人民主音楽協会
代表理事 伊藤一人(新任) 理事 秋谷秀城(新任)
常務理事 近藤寿男(新任) 顧問 小林啓泰(代表理事は退任)

賛助会員 株式会社イープラス
代表取締役会長 橋本行秀
代表取締役社長 倉見尚也

賛助会員 株式会社中京テレビ事業
代表取締役社長 刈谷隆司(新任)

賛助会員 株式会社東京国際フォーラム
代表取締役社長 上條清文(再任)
取締役 廣野研一(新任)

〔協会担当者変更〕

賛助会員 株式会社テレビ東京 営業局 営業・事業センター事業部
新担当者 宮下祐佳里

〔移転〕

正会員 株式会社音楽芸術家協会
新住所:〒156-0053 東京都世田谷区桜1-31-26
新TEL:03-3429-6189(FAXは無し)
E-mail: ongei@octone.net

賛助会員 株式会社オフィス・フォルテ
新住所:〒135-0061 東京都江東区豊洲3丁目4-1-1004
新TEL:03-6220-3367 新FAX:03-6220-3369

〔退会〕

賛助会員 株式会社フリーウェイ

賛助会員 横浜みなとみらいホール

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

今後の活動予定

●10月3～4日 [協会受託事業] 平成30・31年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト集合研修

●2018年1月11日 平成29年度第3回定例理事会、平成30年新年会

会場: eplus LIVING ROOM CAFE&DININGを予定

●宝くじドリーム館

ランチタイム／トワイライト クラシック コンサート

■9月20日 東京
高見信行／トランペット(プロ アルテ ムジケ所属)
■9月21日 大阪
Quintet H / 木管五重奏(ミリオコンコンサート協会所属)
■10月18日 東京
早稲田桜子／ヴァイオリン(プレルーディオ所属)
白石光隆／ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)
■10月19日 大阪
甲斐摩耶／ヴァイオリン(音楽芸術家協会所属)
■11月15日 東京
高橋多佳子／ピアノ(ミリオコンコンサート協会所属)
野口千代光／ヴァイオリン(コンサートイマジン所属)
■11月16日 大阪
黒田晋也／テノール(二期会21所属)

※12月以降も開催します。

第37回クラシック音楽健球会のご報告

会員各位

平成29年6月吉日
クラシック音楽健球会会長 林ゆたか

拝啓

先日は大変お天気に恵まれて、おかげさまで無事にカメラアヒルズ・カントリークラブにてゴルフを楽しむことができました。今回は参加人数が少なかったのが少々残念でしたが、新しくご参加いただいた方もあり、にぎやかな1日となりました。

ご参加いただいた皆様、久しぶりにご参加いただきました皆様には誠にありがとうございました。簡単ですが実施報告をさせていただきます。

次回「第38回クラシック音楽健球会」は昨年より好評いただきました、軽井沢72ゴルフにて9月20日(水曜日)に開催いたします。今回はトーナメント・コースである北コースを押さえております。ご関心をいただける方にはご案内を別途お送りさせていただきますので事務局へご一報くださいませ。敬具

記

日程:2017年5月29日(月)

参加者顔ぶれ:(敬称略)

1組 田中良幸、中坪功雄、大沼千秋
2組 敷島鐵雄、吉田宏美、林ゆたか
3組 遠藤安彦、宇治重喜、栗林信介

ゴルフ場:カメラアヒルズ・カントリークラブ <http://www.camelli hills.com/>

成績発表:優勝 宇治重喜様 (グロス43 / 44 ネット72.6)

準優勝 敷島鐵雄様 (グロス50 / 54 ネット75.2)

第3位 遠藤安彦様 (グロス40 / 44 ネット75.6)

ベストグロス 遠藤安彦様 (グロス40 / 44)

(競技方法: 新ペリア方式)
以上



事務局 (株) ジャパン・アーツ
大沼千秋 ohnuma@japanarts.co.jp

誠にありがとうございます!

クラシック音楽事業ガイド 2017-2018

これは便利!



クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック

●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の90法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。

(隔年発行につき、次回は2019年発行予定)

定価■本体952円+税

発行■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



音楽とともに働きたい人の必携書!! クラシック・コンサート制作の 基礎知識 好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価■2,160円(本体2,000円+税)お申込み・お問い合わせは事務局まで。

発行■株式会社ヤマハミュージックメディア

制作■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、65年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「JAPAN CLASSIC FESTIVAL」や、「こども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為に事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正 会 員 〈平成29年6月30日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスベン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(有)大阪アーティスト協会
(株)音楽芸術家協会
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
コンサートイマジネーション
(株)ザ・シンフォニーホール

(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(株)新演
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポプリモ
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサーツ
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
ハーモニージャパン(株)
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント

(株)ブライトワン
ブラームスホール協会
(株)プレルーディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛 助 会 員 〈平成29年6月30日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(株)王子ホール
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)オペラ王国社
(株)カメラータ・トウキョウ
Kトレーディング(株)
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス
(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業

(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあぼ)
(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
(株)ノジリスタジオ
Hakuju Hall
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖ホール
フェスティバルホール

(株)フロレスタン
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局
(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
宗次ホール
ヤマハ(株)
(一財)ヤマハ音楽振興会
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ロームミュージックファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目1番1号 鈴友ビル4F TEL:03-5719-7601 FAX03-5719-7603

URL: <http://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp



朝岡 聡

フリーアナウンサー&コンサート・ソムリエ

テレビ朝日のアナウンサーとして活躍。フリーとなつてからはテレビ・ラジオ出演のほか、クラシックやオペラ・コンサートの司会や企画構成にもフィールドを広げ、芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。

私、クラシックの語り部です! 《第1回》

コンサート・ソムリエと称してクラシックコンサートの企画や司会をするようになってずいぶん経ちました。レストランのソムリエはワインをお客様に説明したり、料理との組み合わせの相談にのりますが、私の場合はコンサートのプログラムを心から楽しんで納得していただくように司会やトークを担当致します。まずは、ここに至る道のりからお話ししましょう。

中学高校時代はブラスバンドでトランペットを吹き、同時にリコーダーが好きで1970年代からの「古楽ブーム」の時期にレオンハルトやブリュッヘンの演奏をレコードで聴きまくり、大学時代はバロックアンサンブルで演奏にも熱中していた私。テレビ局にアナウンサーとして入社してから音楽現場にはなかなか通えない環境になってしまいました。スポーツ実況と取材、生放送などで、とてもコンサート通いする時間は作れなかったからです。

そのかわりに朝から晩までの放送現場で体感したのは喋りの世界。実況やインタビュー、生放送の司会にナレーション、現場で選手や当事者への取材、VTRの編集やニュース原稿書き……。伝えるために必要な材料をどのように集めて、いかに整理して、どんなふうに喋って伝えるか。ほぼ毎日そのことばかり考えて生活していました。とりわけ久米宏さんの「ニュースステーション」に出演している頃は、自分の喋りもさることながら久米さんの当意即妙の話術を目の当たりにして、ずいぶん勉強させていただきました。

あの番組、久米さんの話術だけでなく、ニュースをどのように伝えるかという点でも画期的な手法をいろいろと生みだしました。フリップや人形を使つての解説、インタビューや専門家のコメントによる丁寧で分かりやすい補足説明……。今では当たり前のニュース番組の手法の数々があそこから誕生した理由、それは「中学生でもわかるニュース」というコンセプトからの発想でした。今の私の仕事の原点はここです。この「ニュース」を「クラシック音楽」に言い換えると、現在の私のコンサート・ソムリエという仕事に繋がるのです。テレビの仕事をしている時には、音楽と結びつけることなど夢にも思っていませんでしたが、今では不思議なほど共通点を見出しています。

つまり、背景や意味の丁寧な説明を加えることでニュースはより多くの人々の興味を惹きつけたのと同じで、クラシック音楽とコンサートも、演奏の前後に知識をトークすると格段に聴衆の心を刺激して、関心や興味が増すのです。そうやって聴いていただいたお客様は演奏後の反応もとても素晴らしい。「へえ、そうだったのね」「なるほど」という受け止め方をして頂ける。そうやってクラシックの面白さを実感する方が多く、「また来よう!」と思ってください。リピーターですね。すると次に来る時には、家族や友人を誘ってくる割合も高まります。エンタテインメントとしてのコンサートにはこれが重要です。

ニュースにも「ストレートニュース」の分野があるように、コンサートにも従来の「演奏主体型」コンサートが存在するのは当然で、これはクラシックコンサート界の母屋のような存在でしょう。演奏のみで十分鑑賞できる材料をすでにお持ちのファンは確かに存在します。ただし、材料を持ち合わせない聴衆もいる。聴衆が高齢化して若い世代に裾野を広げる必要が叫ばれる昨今は、とにかく興味を持って聴いてくれる人々をいかに拡大再生産するかが課題です。その意味では司会やトークの入るパターンのコンサートも有力な手段だと考えます。

解説ならプログラムに活字で掲載すれば良いではないか?という意見もあるかもしれません。確かに活字の知識も貴重です。しかしコンサートのさなかに客席でプログラムをじっくり読むのは難しいですし、ステージで演奏が進行しているのにプログラムに集中するのも、これまた難しいもの。やはり、タイミングよくステージから演奏と一体となった「喋り」が有効です。そうやって、音楽を感じる材料をライブ空間で手に入れると、聴衆の感性は実に豊かになります。客席のお客様の表情がみるみる変化しているのが分かり、演奏への期待度は一層高まり、演奏後の拍手や反応も明らかに熱を帯びる。

そんな空間に身を置いた時に本当に嬉しいですし、私自身も楽曲と演奏者への敬愛の情がさらに深まるのです。要はステージと客席がいつそうコミュニケーションを深める工夫をするのがコンサート・ソムリエだと思います。実際のソムリエがワインとおお客様の両方を、独自の感覚で結び付けて満足度の高い食卓を演出するのと同じです。

今回は具体的な手法についてもお話したいと思います。



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,500人、登録曲 5万曲以上

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約 2,000 万 PV

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/



広告募集中

発行部数:600部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(1月、4月、7月、10月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm) 1万円(消費税別)

お問い合わせ:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5719-7601

E-mail. info@classic.or.jp